60代は楽観的!?
不動産相続を受けることに「不安はない」63.8%

60代は楽観的!? 不動産相続を受けることに「不安はない」63.8%。
相続を意識するタイミングは60代。「配偶者」や「専門家」への相談が増加。
不安材料は、親族間のいさかいよりも「相続の手続き」57.1%。

不動産関連の比較査定サイト「スマイスター（https://www.sumaistar.com
）」を運営する株式会社シースタイル（本社：東京都中央区、代表取締役：川合
大無）は、「将来不動産を相続する可能性がある」という30～70代の全国300人を対象に、「今後の不動産相続の不安と相談事情」についての調査を行いました。

【調査結果サマリー】
・ポイント1 自身が受ける予定の不動産相続について、「誰にも相談したことはない」74.7%。
・ポイント2
相続を受ける話をするきっかけは「親の心身の変化」44.7%。自分事だと実感してから。
・ポイント3
不動産相続に「不安がある」54.3%。でも60代は逆転し、「不安がない」63.8%に。

「60代は『配偶者に相談』が倍増。専門家の活用も積極的に」
自身が受ける相続について、誰に相談しているのでしょう？
全体の1位は「誰にも相談したことがない」74.7%ですが、60代になると「配偶者へ相談」が25.6%に倍増、専門家への相談も11.7%に増加し、60代が相続を意識するタイミングといえそうです。つづいて相続の話をするきっかけを聞くと、1位「親の心身の変化」44.7%、2位「身内の病気や死」42.0%となりました。相続の事前対策は可能ですが、現実は、具体性を帯びないと積極的には動き出せないようです。

「不動産の相続、不安の要因は『手続き』や『相続税』、『相続争い』」
不動産相続を受けることに不安は？全体では「不安あり」が54.3%と多数派ですが、60代から逆転し、「不安なし」が63.8%に。相続を間近に控える60代は不安感がむしろ減り、40～50代の方が漠然としたモヤモヤを抱えているようです。つづいて「自身が受ける不動産相続で、不安に感じているもの」を聞いてみました。1位は「相続の手続きがスムーズにできるか」57.1%、2位は「相続税を支払うことが可能か」53.4%、3位は「兄弟・親族と争うことなく相続ができるか」46.6%という結果に。相続の不安は手続きや相続税のほか相続争いも半数を占め、重なる不安がありそうです。

http://www.cstyle.co.jp/news/detail/release/20170228

＜調査概要＞
■調査期間：2017年1月13日 ～15日
■調査手法：インターネット調査（ネオマーケティング調べ）
■集計数：「将来不動産を相続する可能性がある」という30代以上の全国300人

＜スマイスターについて＞
■内容：不動産関連サービスの総合比較サイト「スマイスター」は、複数の不動産会社に無料で一括問い合せをすることができるサービス。2006年運営開始で現在掲載企業数約1,600社。
対応カテゴリは、不動産売却、任意売却、不動産買取、土地活用、賃貸管理、マンション管理、ビル管理、不動産投資、貸事オフィス、リノベーションなど10サービスを展開。不動産業界に特化した一括問い合わせサイトで10サービスの展開は日本随一。
■URL：https://www.sumaistar.com

＜スマイスターMagaZineについて＞
■内容：マンションや土地の売却、売買に関するニュースや記事、専門家のブログなどが満載！投資や相続の体験談など幅広く取り揃えている。
■URL：https://www.sumaistar.com/magazine/article/

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
株式会社シースタイル 企画開発部 広報 小林
E-mail ： press@cstyle.co.jp
Tel ： 03-5847-8558
Fax ： 03-5847-8559

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com